箕島小だより

有田市立箕島小学校
平成30年1月号
《 第9号 》

学校教育目標
○よく考える子ども
○思いやりのある子ども
○元気な子ども

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願いいたします

ひろはまかずとし墨彩詩画集「おもいのまんま」より

いよいよ平成29年度の3学期がスタートしました。

子どもたちは，年末年始をご家族と共に過ごし，心機一転，新たな年への決意を胸に今日の日を迎えたことと思います。わたくしたち教職員も大変重要な3学期のスタートの日を身の引き締まる思いで迎えました。

3学期は，その学年の一年間のまとめをするのですが，さらに，次学年に繋ぐために，一年間を振り返り，成果と課題を明らかにすることが重要となります。その意味で3学期は，次学年への準備のための「0学期」とも呼ばれます。

ご家庭におきましても，3学期の重要性をご理解の上，子どもたちの成長をお見守りいただければと思います。

さて，毎年，この3学期は，日を追う毎に学校の中が温かい雰囲気に包まれていきます。3月に執り行われる卒業式に向けてです。

6年生は，「小学校卒業」という人生の大きな節目に向け，今までの生活を振り返ります。そして自分の人生にどれだけたくさんの方々が関わってくださっていたのかということを再認識します。また，1～5年生の子どもたちは，卒業していく6年生のみなさんに今までどれだけお世話になったのかということを振り返ります。卒業式が近づくにつれ，寂しさが大きくなっていくのですが，それとともに学校の中が「感謝」の思いで満たされ，温かい雰囲気に包まれていきます。

子どもたちには，日々の生活が決して当たり前なのではなく，たくさんの方々のおかげなのであるということに気づき，感謝の思いをもって過ごしてほしいと思います。

イラスト・小倉 宏之

生き様を見せることこそ

美輪（みわ） 明宏（あきひろ）さん　歌手・俳優

1935年、長崎市生まれ。16歳でデビュー。9月から東京を皮切りにシャンソンとトークの全国公演を予定。

私が一番を感だった子ども時代は戦時中でした。長崎の実家はキャバレーのようなカフェや銭湯をやっていて、屋間とは違う大人たちの姿を見て育ったので、かわいげのない、変わった子どもでした。

普段は立派な身なりの人が意外とだらしのない体で、ヨイトマケのおばさんが立派な体だったり、官職にある人がお忍びで来て、ホステスにいたずらしてヘラヘラしたり。そんな大人たちが「ねばならない」と押しつけていた軍国教育は、長崎にも原爆投下を招いた末の終戦で全てひっくり返り、美徳とされてきた価値観は悪徳になりました。

私は、そんな大人たちをみて思ったんです。ひとの人格や立派さは、容姿や年齢や肩書なんかとは一切、関係ない。目の前にいる人の魂が、ただ情けないかどうかだけを見るようにすればいい、と、その思いは、今に至るまで変わっていません。

子どもは、複雑怪奇な生き物です。特に、分別がつく前の幼児は常にくるくると動き回り、何をするかわからない。でも、幼児だと思っても、大人以上の洞察思考で人を観察しています。親や教師の心や動き方も、どこかで見ている。この人はあの人が嫌いなんだとか、この人はだらしないとか、ちゃんと勤務評定をつけているんです。だから、そんな大人が「子どものため」と言っても、腹の中でせせら笑う子もいます。

それなのに、こんな政治っちゃいますよ。ヒステリーをおこし、「記憶にございません」と言っていれば大丈夫だと教えるんですか。政治だけではありません。いじめで自殺した子がいるのに、保身に走る教育委員会、金もうけ主義で、暴力やグロテスクな表現ばかりの漫画やゲームや映画。お前のためだと言いながら、自分のミエや人生の尻ぬぐいのために、子どもを処にがんじがらめにする親。大人がやるべきことって、そういうことなんでしょうか。

本当に愛情をもって子どもを導くには、まずは導く資格があるかどうか、我が身を振り返ることです。特に今は本を読まない大人が多く、言葉遣いもめちゃくちゃ。あいさつや敬語の使い方も子どもに伝わり、人生を左右します。

本当に「子どものために」と思うのなら、まず大人が本を読み、日本語の勉強からし直した方がいいと思います。

「人のハエを追うより、自分の頭のハエを追え」って言いますでしょ。子どもは、親の背中、大人の一挙手一投足を見て育つ。本当に子どものために必要なのは、どんな教育よりも親の生き方、大人の生き様なんです。その上で、時に突き放して苦労から学ばせる厳しさと、時に身をていしてでも守り抜くバランスが、子どもへの真の慈悲になるのです。（聞き手・吉川啓一郎）

新聞記事を親子で

「箕島小だより」を地域の方々にお配りして回るのですが，ある時，「先生，ちょっと待っててな。」と声をかけられました。しばらくすると，その方は新聞記事が何枚か入った封筒を持って来られて，「時々新聞記事で息子と色々なことを話すんよ。」と話されました。息子さんと言っても学生さんではなく，就職されている方です。きっと色々なことを深くまで語り合っておられるのだろうなあと思いました。

みなさんのご家庭では，新聞記事やテレビのニュース等でお子さんと色々なことを話す時間などおありでしょうか。政治や経済の記事は小学生にとっては難しいかもしれません。投書や新聞一面にある時事問題に関する編集者の意見の記事等は，お子さんと色々な話をするのにいいのではないかと思います。

左の記事の最後には，こう書かれています。～子どもは，親の背中，大人の一挙手一投足を見て育つ。本当に子どものために必要なのは，どんな教育よりも親の生き方，大人の生き様なんです。その上で，時に突き放して苦労から学ばせる厳しさと，時に身をていしてでも守り抜くバランスが，子どもへの真の慈悲になるのです。

「新聞記事を親子で」いかがでしょうか。

◇ 当面の行事予定 ◇

1月	11日（木）	サイエンスコンサート 育友会新地区委員総会
	15日（月）	委員会活動
	18日（木）	育友会文化広報部会
	20日（土）	県PTA指導者研修会市PTA交流会
	22日（月）	クラブ活動
	24日（水）	ドッジボール大会
	26日（金）	租税教室（6年）
	27日（土）	（有）科学作品展 （有田川町金屋農村センター～28日）
	28日（日）	（市）駅伝大会
	29日（月）	クラブ活動
2月	1日（木）	昔からの遊び（1年）
	3日（土）	（県）科学作品展 （和歌山市フォルテワジマ ～4日）
2月	5日（月）	児童会役員選挙立候補者立会演説会・投票
	7日（水）	校内授業研修
	9日（金）	行政相談出前授業（6年）
	10日（土）	書初会中央展 （紀美野町中央公民館 ～11日）
	13日（火）	児童会役員引継式
	15日（木）	授業参観・学級懇談会・ 6年生保護者会・箕島中制服採寸
	17日（土）	箕島地区防災訓練 工作展 （有田川町金屋農村センター～18日）
	18日（日）	（県）ジュニア駅伝
	24日（土）	書初会金賞展（港小学校 ～25日）
	25日（日）	子ども元気まつり
3月	19日（月）	卒業式